

<運用手順書>

顔認証サーマルカメラ IRC-F1672DX/DW

を iVMS-4200 で使用方法

目次

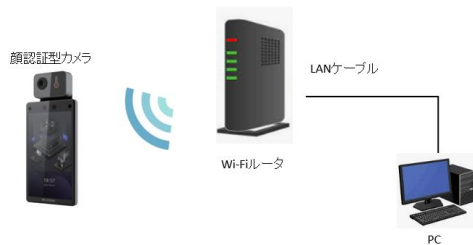
端末を PC につなげるための準備.....	3
1. 固定の IP アドレスを端末に設定する方法（推奨）	4
2. DHCP（IP アドレス自動取得）で IP アドレスをとる方法.....	6
iVMS-4200 のインストール・初期設定	9
1. iVMS-4200 のインストール方法.....	9
2. 日本語変換ソフトのインストール方法.....	10
3. iVMS-4200 初期設定方法.....	11
iVMS-4200 にカメラ情報を登録する方法.....	13
iVMS-4200 各種機能.....	16
1. ユーザー登録.....	16
2. ユーザーデータ一括インポート.....	17
3. 温度異常アラートのメール通知設定.....	20
4. アクセスモニタを利用したモニタリング.....	22
5. システムイベントを利用したアクセス状況確認.....	24
勤怠設定	26
全体の作業の流れ.....	26
デバイス登録・ユーザー登録.....	27
アクセスコントロール設定.....	27
メニュー＞アクセスコントロール.....	27
データの反映.....	28
勤怠編	29
勤怠管理概要	29

端末を PC につなげるための準備

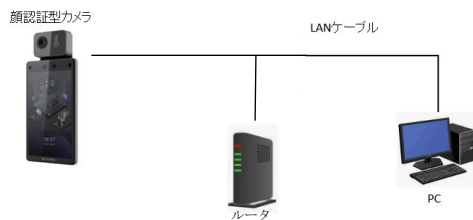
端末のネットワークパラメータの設定を行います

〈前提〉

- ・カメラとルーターが無線でつながっていること



- ・もしくはルーターや PC と有線で接続されていること



有線接続の場合はカメラへの LAN の接続、無線接続の場合は Wi-Fi への接続をネットワークパラメータの設定の前に行う必要があります。

＜Wi-Fi 接続の方法＞IRC-F1672DW のみ

- ①端末でメニュー画面を開きます
- ②通信設定を開きます



- ③Wi-Fi を開きます



④接続したいネットワークを選択します。Wi-Fi パスワードがある場合はパスワードを入力します。※PC と同一のネットワークに接続する必要があります。



1. 固定の IP アドレスを端末に設定する方法（推奨）

<有線ネットワークの場合>

- ①端末でメニュー画面を開きます
- ②通信設定を開きます



- ③有線ネットワークを開きます



- ④DHCP を OFF にし、ネットワークパラメータを入力します。



[ネットワークパラメータの入力に関して]

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します

ルータの基本設定により数字が変わります。

以下の設定例はルータの IP アドレスが 192.168.1.1、サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合です。



IP アドレス : 192.168.1.XX (1-254 までの任意の番号)

サブネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ 192.168.1.1 (ルータの IP アドレス)

DNS サーバ (ルータの設定による)

その他、ネットワークはお客様環境によりますので、お客様のネットワーク担当者にご確認ください。

※IP アドレスはネットワークに接続しているほかのデバイスと重複してはいけません。ルータの設定画面等で接続しているネットワークに接続しているデバイスの IP アドレスがわかりますのでルータの取扱説明書等をご覧ください。ネットワーク担当者にお問い合わせください。

<無線ネットワークの場合>

①端末でメニュー画面を開きます

②通信設定を開きます



③Wi-Fi を開きます



④接続している Wi-Fi 名をタップします。



⑤DHCP を OFF にし、ネットワークパラメータを入力し、最後に✓をタップしてください。ネットワークパラメータの入力方法については上記記載をご確認ください。



2. DHCP (IP アドレス自動取得) で IP アドレスをとる方法

DHCP (IP アドレス自動取得) でも IP アドレスの設定が可能です。ただし、ルータの設定によって定期的に IP アドレスが変わります。その都度 iVMS-4200 へのデバイス追加をし直す必要がありますのでご注意ください。

<有線ネットワークの場合>

①端末でメニュー画面を開きます

②通信設定を開きます



③有線ネットワークを開きます



④DHCP を ON にします。DHCP をオンにすると自動で IP アドレスが割り振られます。



ここで自動入力された IP アドレスを控えてください。後ほど iVMS にて入力を行います。

<無線ネットワークの場合>

①端末でメニュー画面を開きます

②通信設定を開きます



③Wi-Fi を開きます



④接続している Wi-Fi 名をタップします。



⑤DHCP を ON にし、✓をタップしてください。



ここで自動入力された IP アドレスを控えてください。後ほど IVMS にて入力を行います。

iVMS-4200 のインストール・初期設定

1. iVMS-4200 のインストール方法

①以下の URL をクリックし、弊社 HP から管理用ソフトウェア iVMS-4200 をダウンロードします。

<https://www.irisohyama.co.jp/b2b/camera/manual/>

AIカメラ・AIサーマルカメラ 基本ソフト/説明書

弊社AIカメラ・AIサーマルカメラで共通で使用する基本ソフトウェアです。

iVMS-4200
(カメラビューワーソフト)
バージョン：V3.7.1.5
2022.04.11更新
(更新内容)
・バグ修正

Guardin
(カメラビュー)

Multi Lingual Package
(iVMS-4200用日本語変換ソフト)
バージョン：V3.7.1.5対応版

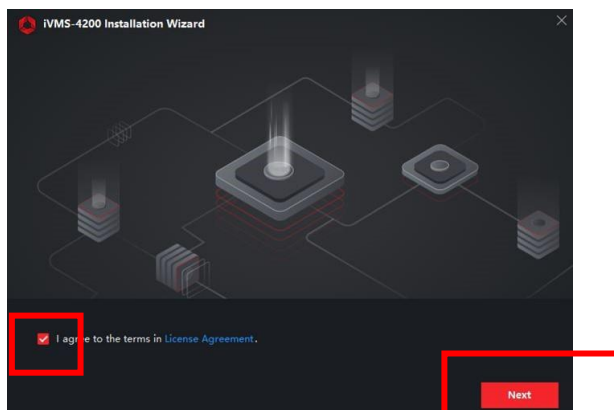
SADPツール
(カメラIPアドレス発見ツール)

②ダウンロードした iVMS-4200 をインストールします。

保存されたファイルをダブルクリックするとインストールを開始します。

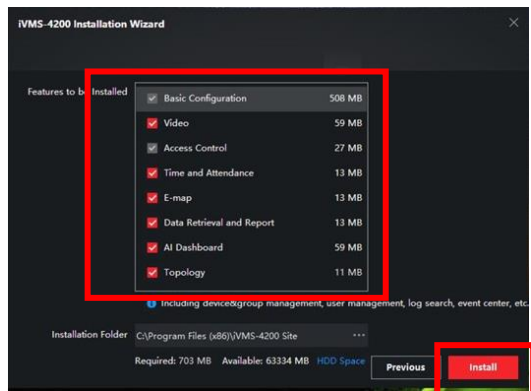
名前	更新日時	種類	サイズ
iVMS-4200V3.7.1.5_E.exe	2022/04/11 11:48	アプリケーション	271,069 KB

③左下のライセンス契約を確認して、チェックを入れ、NEXT をクリックします。



④必要な機能を選択し、チェックを入れ、Install をクリックする。

※「Basic Confiuration」、「Access Control」は必須。



Basic Confiuration : 通常の機能。

Video : 録画を見る機能

Access Control : 顔認証入退室を管理・制御する機能

Time and Attendance : 勤怠管理システム

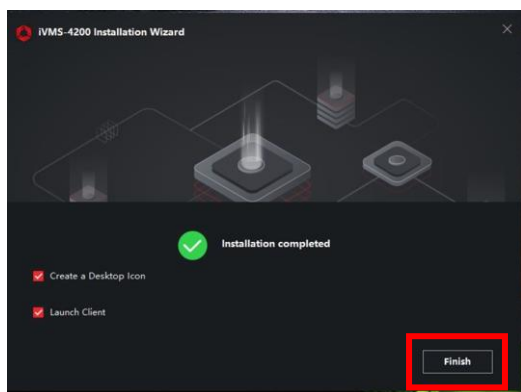
E-map : マップ上でカメラ位置を確認する機能

Data Retrieval and Report : レポートを出す機能

AI Dashboard : AI 機能（属性分析など）を一覧で表示する機能

Topology : 各端末、ハブの状態を表示する機能

⑤自動的にインストールが開始され、下記の画面になれば Finish をクリックする。



2. 日本語変換ソフトのインストール方法

①以下の URL をクリックし、弊社 HP から日本語変換ソフトをダウンロードします。

<https://www.irisohyama.co.jp/b2b/camera/manual/>

AIカメラ・AIサーマルカメラ 基本ソフト/説明書

弊社AIカメラ・AIサーマルカメラで共通で使用する基本ソフトウェアです。

iVMS-4200 (カメラビューワソフト) バージョン : V3.7.1.5 2022.04.11更新 (更新内容) ・バグ修正 ダウンロード	Guardin (カメラビューワソフト)
Multi Lingual Package (iVMS-4200用日本語変換ソフト) バージョン : V3.7.1.5対応版 ダウンロード	SADPツ (カメラIPアドレス設定ツール)

②ダウンロードした **Multi Lingual Package**（日本語変換ソフト）をインストールします。

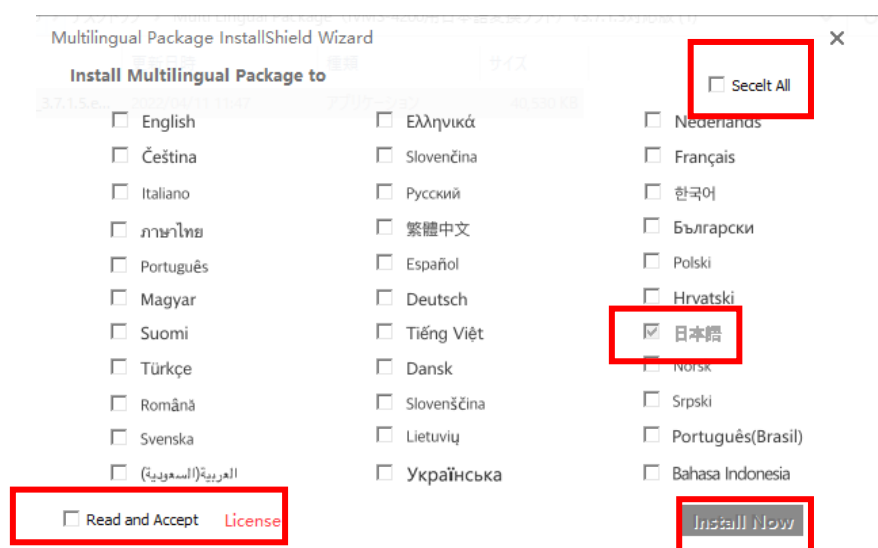
※必ず iVMS-4200 インストール完了後に行ってください。

保存されたファイルをダブルクリックするとインストールを開始します。

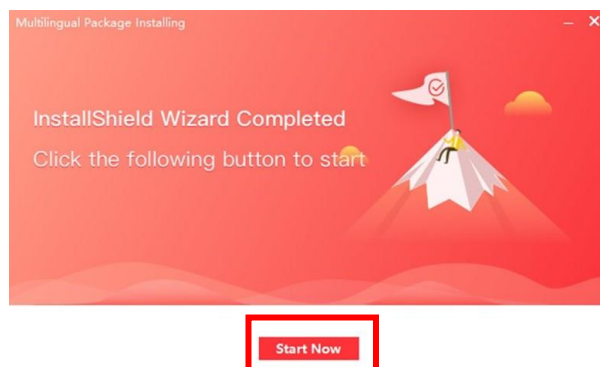


③右上の **Select All** をクリックし、選択を解除し、日本語のみチェックを入れます。

左下のライセンス契約を確認してチェックを入れ、**Install Now** をクリックします。

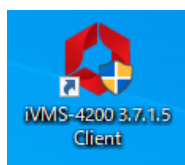


④下記の画面になれば **Start Now** をクリックします。



3. iVMS-4200 初期設定方法

①上記でインストールが完了したらデスクトップ上のアイコンからソフトを起動します。



②表示言語を日本語に変更し、初期設定時のユーザー名、パスワードを設定します。

※ユーザー名は「admin」、パスワードはカメラ本体に登録したものと同じ

※オートログインにチェックを入れると、次回よりパスワード入力が必要になります。



③パスワードを忘れた際の質問と回答を設定

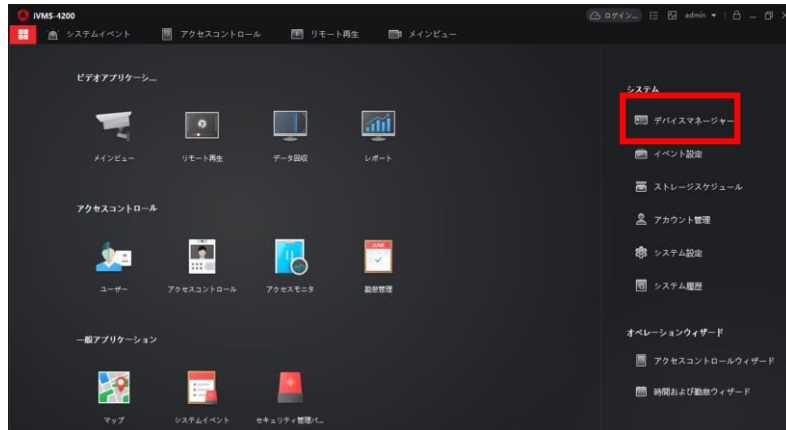
1. 2. 3. の選択肢から質問を選択し、回答を入力



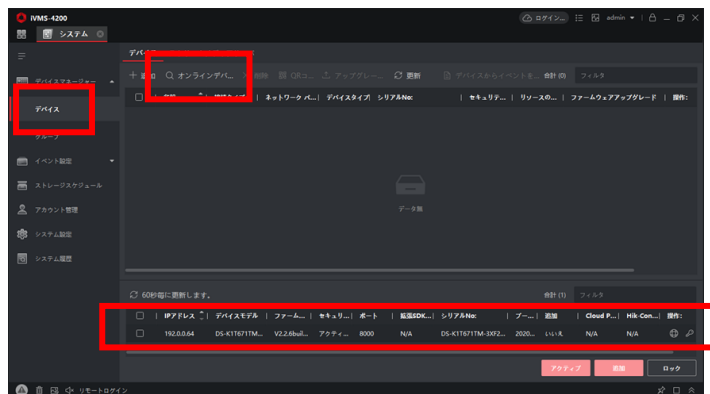
終了すると、iVMS-4200 にログインします。

ivMS-4200 にカメラ情報を登録する方法

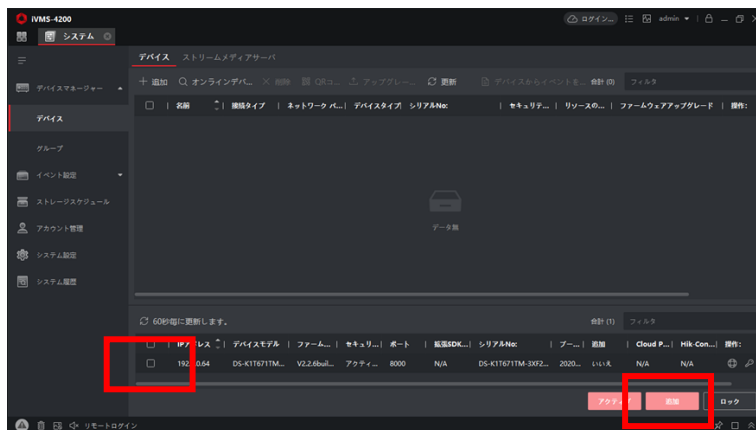
①画面左上のメニュー画面呼び出しアイコンをクリックし、右側のデバイスマネージャーをクリックする。



②左側のデバイスを選択し、オンラインデバイスをクリックし、ネットワーク接続中のデバイス情報を呼び出します。(端末のネットワークパラメータ設定の際に控えた IP アドレスが表示されます)



③パソコンで操作したいデバイスの左端のチェックボックスにチェックを入れ、右下の追加ボタンをクリックします。



④選択したデバイスの追加ウインドウに各項目を入力して、追加を押す。

- ①カメラの名前（任意）
- ②アドレス（自動入力）
- ③送信暗号化（チェック不要）
- ④ポート（変更しない）
- ⑤ユーザー名 admin（固定）
- ⑥パスワード（カメラ本体で設定したパスワード）
- ⑦時刻を同期にチェック
- ⑧グループにインポートにチェック

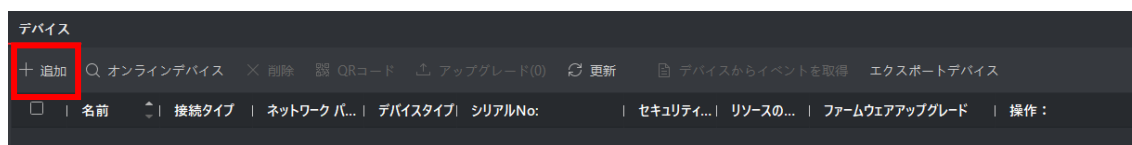
⑤追加が成功したデバイスは下記のように表示されます。

リソースの利用状況がオンラインになっていることを確認してください。



＜オンラインデバイスに表示されない場合＞

①+追加をクリックします。



②デバイスのネットワークパラメータ設定時に控えた IP アドレスを入力し、他項目も上記の記載を参考に入力します。最後に追加をクリックします。

③追加が成功したデバイスは下記のように表示されます。

リソースの利用状況がオンラインになっていることを確認してください。



<オンラインにならない場合>

- ・ネットワークの設定が間違っている
- ・お客様のネットワーク管理のポリシーでブロックされている

等の原因が考えられます。

①に関してはコマンドプロンプトで PING コマンドを実行して反応が返ってくるかでネットワークにデバイスが接続されているかを調べることができます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1706]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Users\¥105352>ping 192.168.1.65

192.168.1.65 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。

192.168.1.65 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 0、損失 = 4 (100% の損失)、
```

デバイスの IP アドレスが 192.168.1.65 の場合

「ping 192.168.1.65」と入力。接続されていない場合、「要求がタイムアウトしました」という記述、接続されている場合、「192.168.65.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=255」という記述が出ます。

接続されているのに繋がらないといった場合は、お客様のネットワーク管理のポリシーの問題の可能性がありますのでお客様のネットワーク担当者にお問い合わせください。

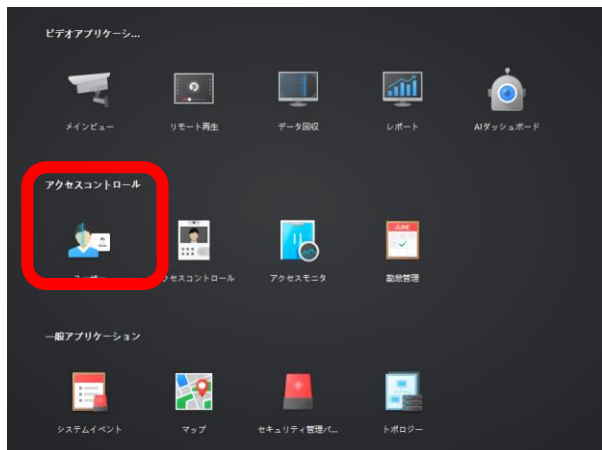
<DHCP (IP アドレス自動取得) で接続している場合>

DHCP でネットワークと接続している場合は、ルータの設定により定期的に IP アドレスが変わる可能性があります。IP アドレスが変わるとオフラインになり、接続が失われますので、その場合は、再度カメラ登録を行ってください。

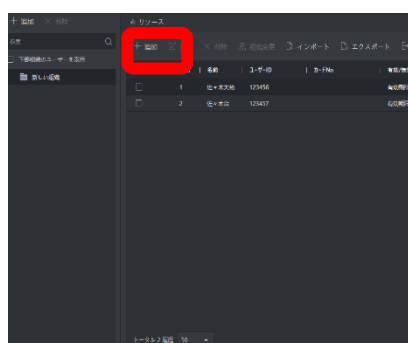
iVMS-4200 各種機能

1. ユーザー登録

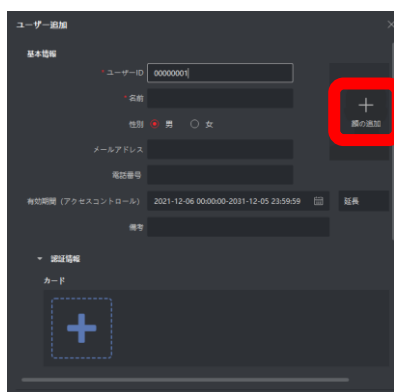
メニューのユーザーを開きます。



新規ユーザー登録を行う場合



リソース>追加ボタンでユーザー登録を行ってください。



ユーザーID：任意の数字を入れてください。

(最初は自動採番されます。)

名前：表示される名前です。

性別：男女を登録してください。

その他項目は任意項目になります。

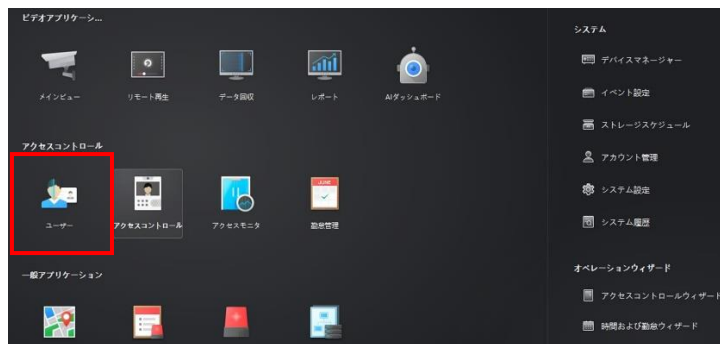
顔の追加：

アップロード	Jpeg でアップロードします。
写真を撮る	PC に付いているカメラで撮影をします。
リモートコレクション	接続されているデバイスから撮影します。

2. ユーザーデータ一括インポート

・写真を使用したユーザーデータの一括インポート方法

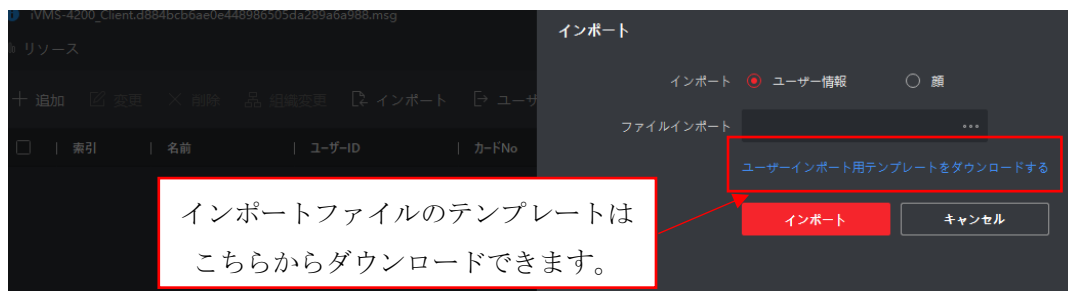
①メニュー画面からユーザーを選択します。



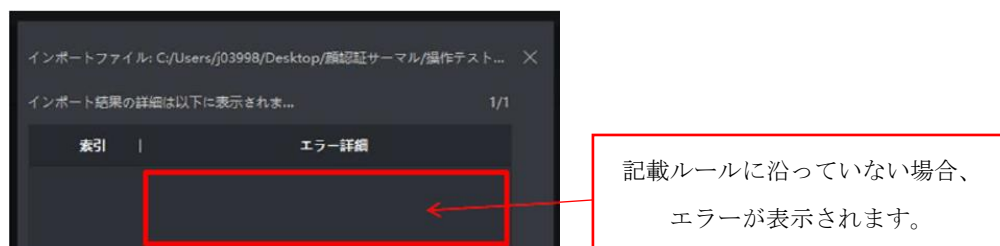
②インポートをクリックします。



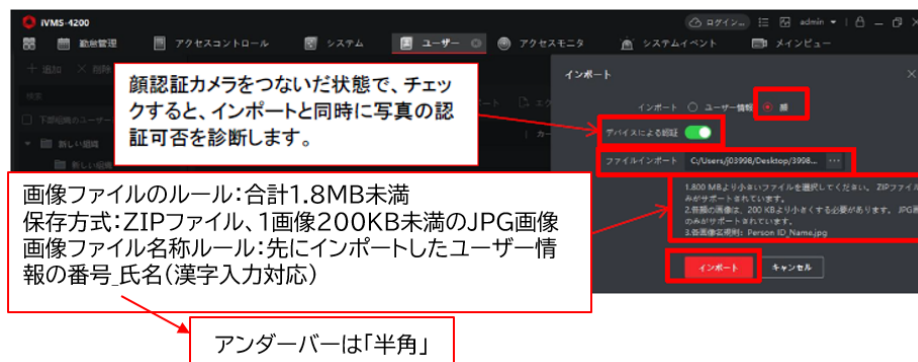
③ユーザー情報にチェック、インポートファイルを選択し、インポートボタンをクリックします。



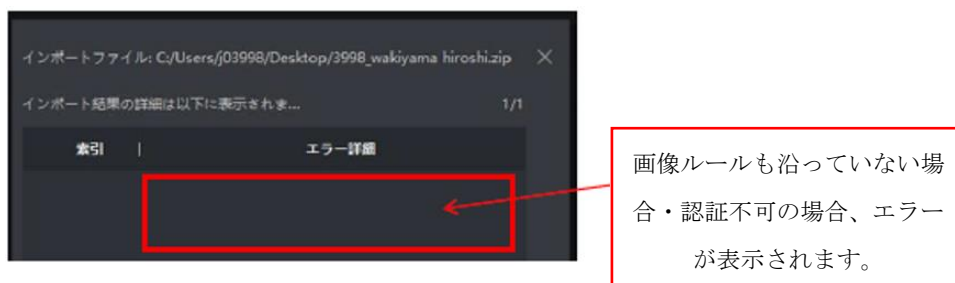
④インポート完了後、エラーが表示されなければ成功です。



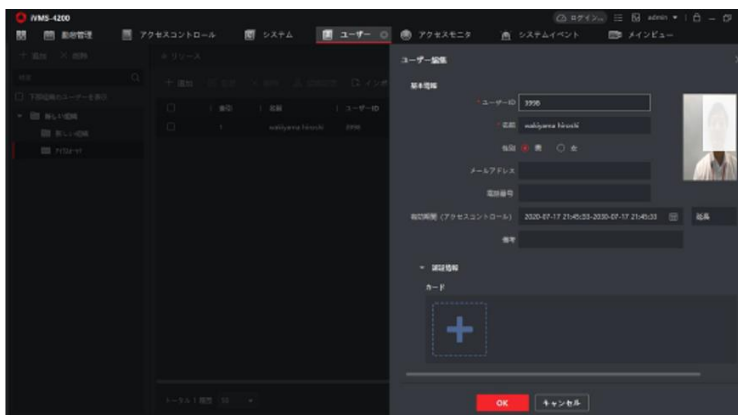
⑤顔にチェック、インポートファイルを選択し、インポートボタンを選択します。



⑥インポート完了後、エラーが表示されなければ成功です。



⑦ ユーザー情報に画像が追加されてインポートされます。

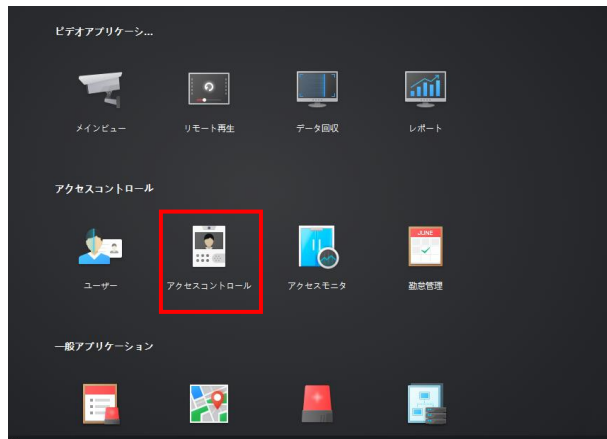


※ユーザー情報をエクスポートし、保存しておくことも可能です。

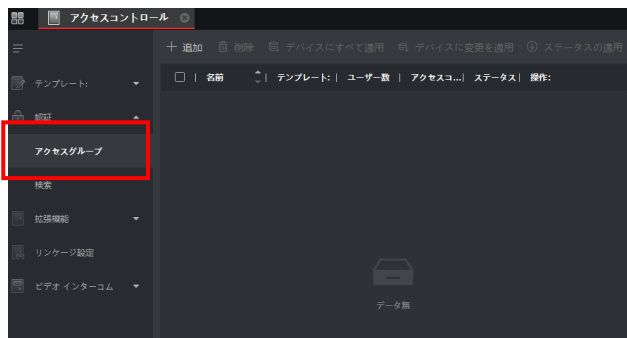


- ・新しいユーザーデータをデバイスに適用する方法

①メニュー画面からアクセスコントロールを開きます。



②認証のアクセスグループをクリックします。

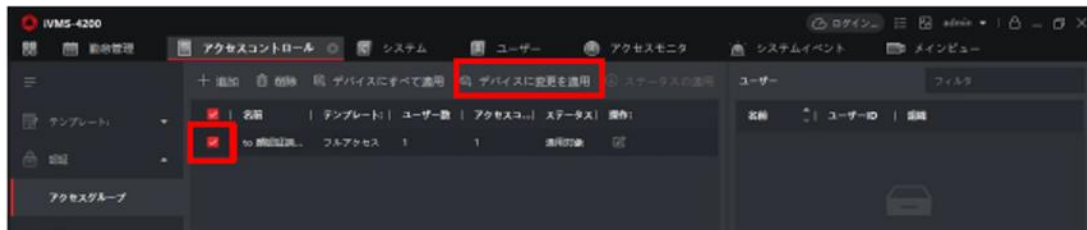


③追加をクリックし、下図の項目を入力し、保存をクリックします。



- ・名前（任意の名称）
- ・ユーザーの選択
追加したユーザーを選択
します。
- ・アクセスコントロー...
適用するデバイスを選択
します。

④保存されたアクセスグループをチェックし、デバイスに変更を適用します。



⑤適用が成功されると下図のように表示されます。

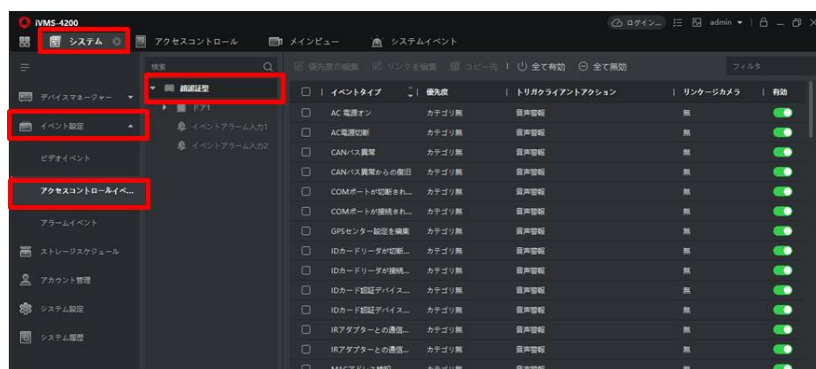


3. 温度異常アラートのメール通知設定

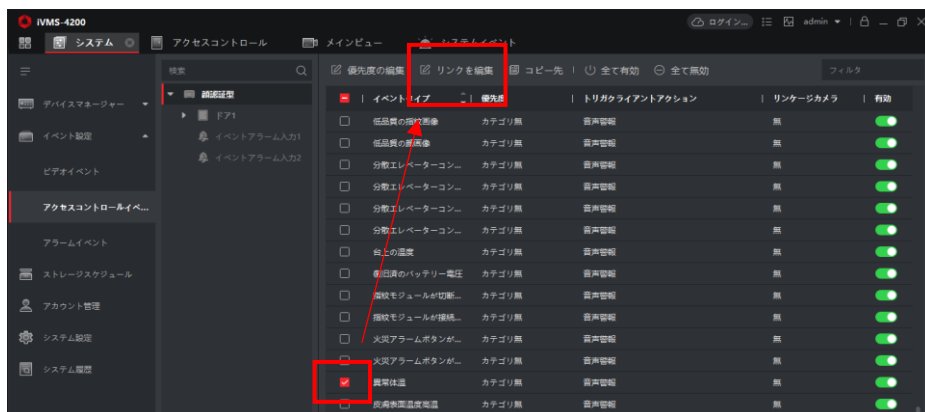
①システムのイベント設定をクリックします。



②アクセスコントロールイベントをクリックし、顔認証サーマルカメラを選択し、イベント異常体温を有効にします。



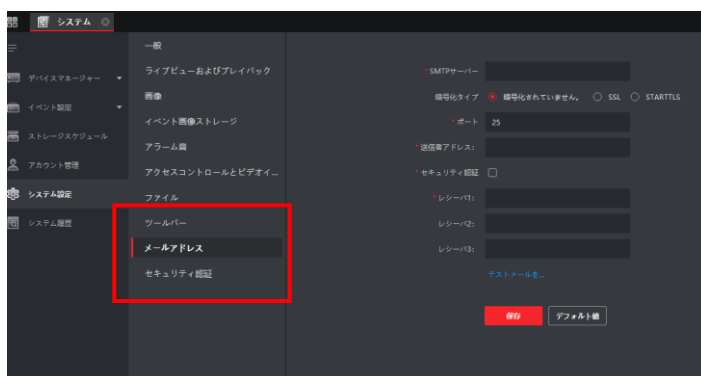
③温度異常にチェックを入れて、リンクを編集をクリックします。



④メール送信をチェック、リンケージカメラを選択、OK ボタンを押します。



⑤システムのシステム設定からメールアドレスを開きます。



⑥使用メールサーバー設定を行います。

※メール送信にはネットワークが必須です。

※下記メールサーバー設定は弊社の例です。設定の際は御社システム担当者にご連絡ください。

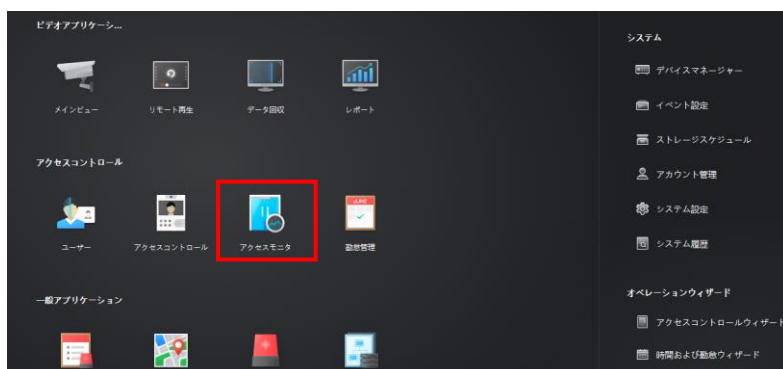


⑦ 閾値異常の温度検知時にアラートメールが送信されます。



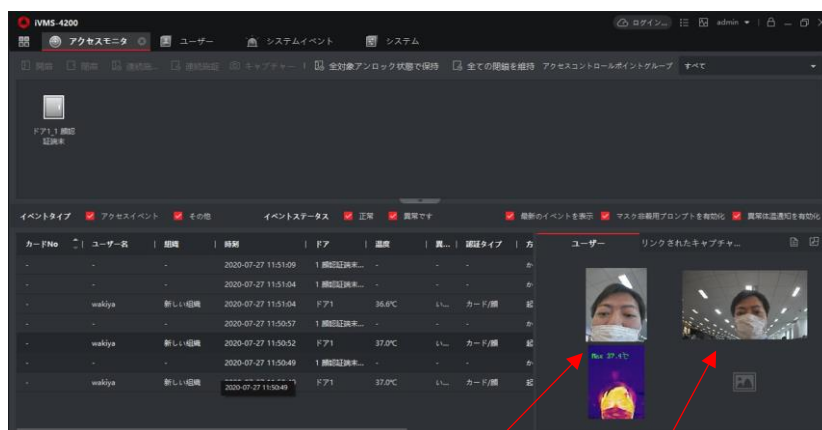
4. アクセスモニタを利用したモニタリング

① メニュー画面を開き、アクセスモニタを選択します。



② デバイスへのアクセス状況をリアルタイムでモニタリングできます。
顔認証モードと体温測定のみモードではモニタリング内容が異なります。

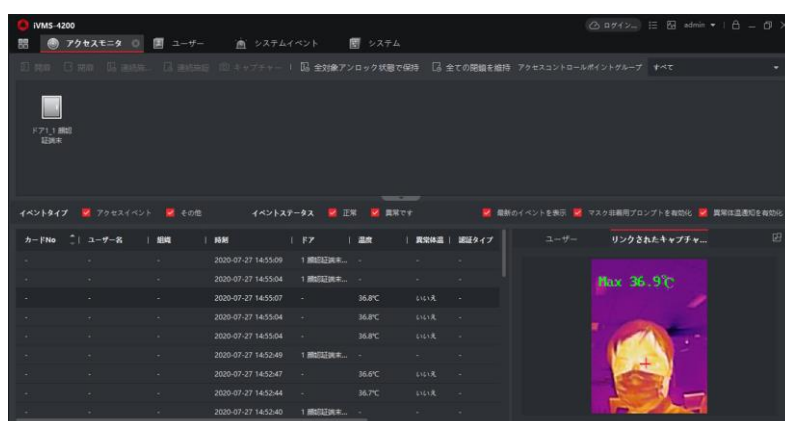
【顔認証モードのアクセスモニタ】



個人登録写真

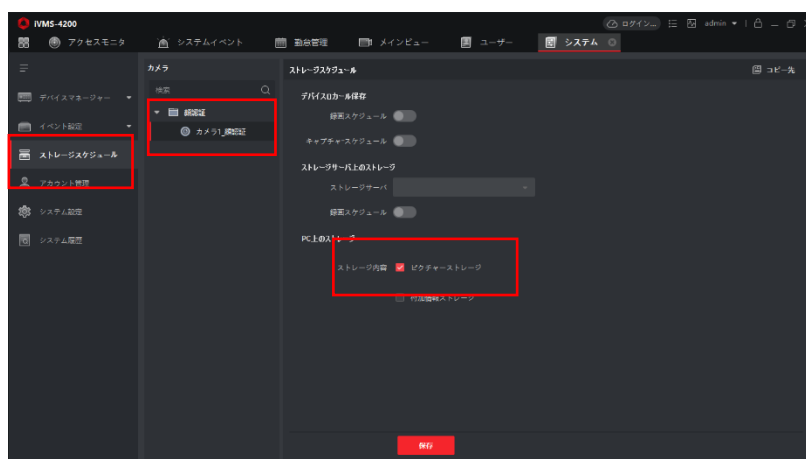
個人登録写真

【体温測定のみモードのアクセスモニタ】



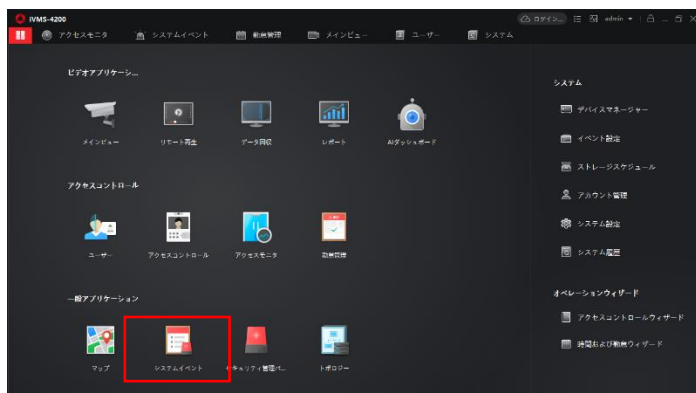
※写真を表示する場合はピクチャストレージをチェックします。

(システム→ストレージスケジュール→カメラ→カメラのカメラ選択→ピクチャストレージをチェック→保存)



5. システムイベントを利用したアクセス状況確認

①メニュー画面を開き、システムイベントを選択します。

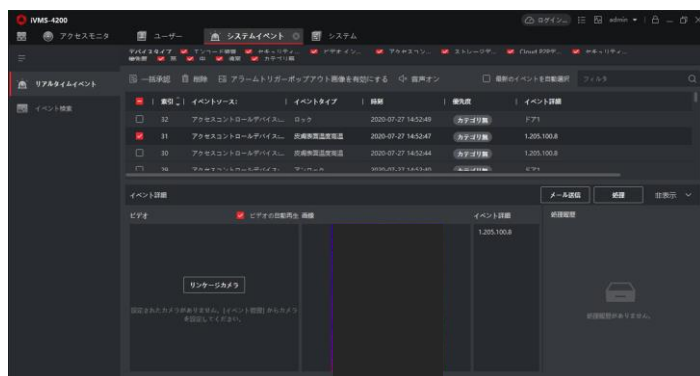


②リアルタイムイベントより、デバイスへのアクセス状況をリアルタイムでモニタリングできます。(異常温度のイベントもこちらで確認できます)
※顔認証モードと体温測定のみモードではモニタリング内容が異なります。

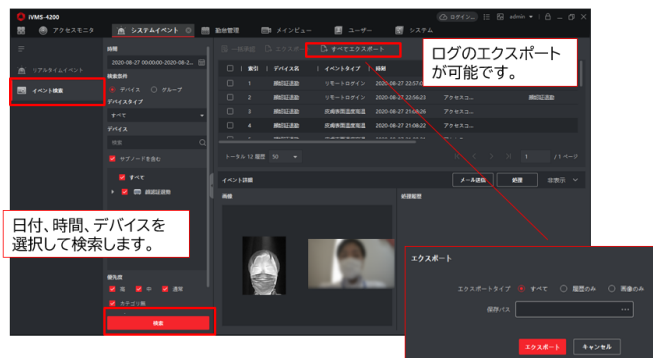
【顔認証モードのリアルタイムイベント】



【体温測定のみモードのリアルタイムイベント】

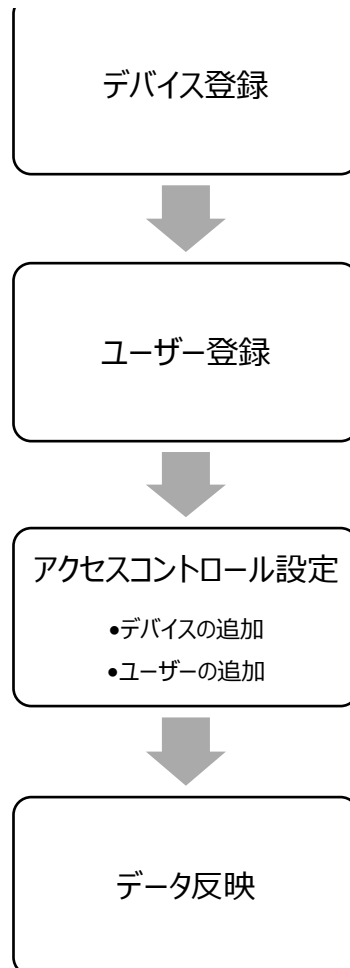


※システムイベントは過去のイベントを検索するイベント検索機能があります。



勤怠設定

全体の作業の流れ



設定概要

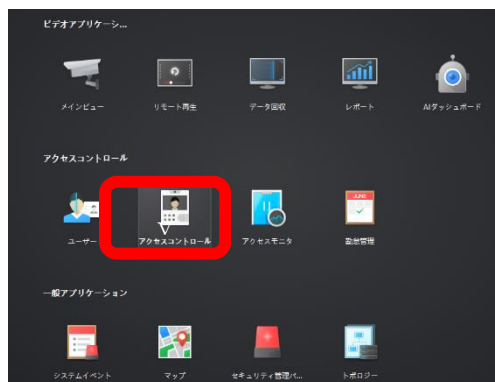
OS	Windows 10 Pro
アプリケーション	3.5.4.07
デバイス名	671
デバイスファームバージョン	V2.2.36 build 20210410

デバイス登録・ユーザー登録

上記の記載の方法で iVMS-4200 にデバイス登録とユーザー登録を行います。

アクセスコントロール設定

デバイスとユーザーを紐つけて、データの送り込み設定をします。



メニュー>アクセスコントロール

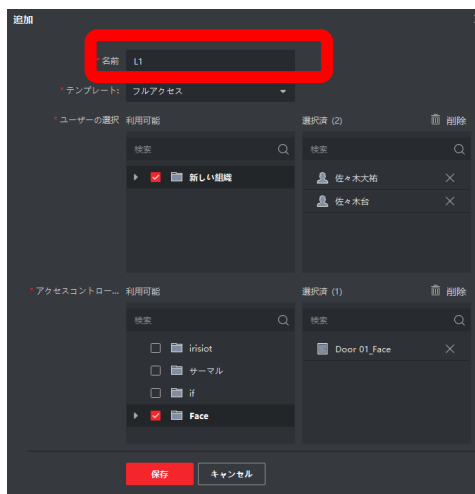
次にアクセスコントロール設定を行います。

各ドア（アクセスコントロールデバイス）を紐つけます。



認証>アクセスグループ>

追加ボタンを押す。



名前：グループ名を設定してください。

(1 台でも作成してください。)

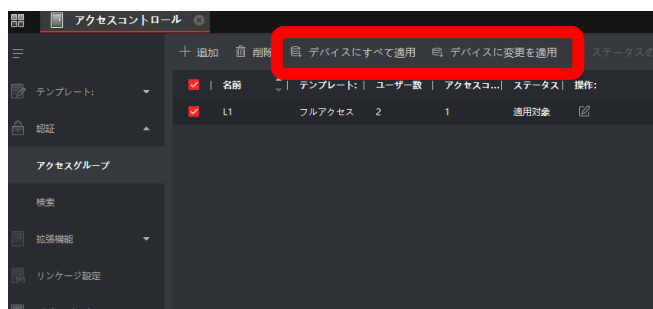
ユーザーの選択：

グループに所属するユーザーを選択してください。

アクセスコントロールポイントの選択

グループに所属するデバイスを選択してください。

データの反映



認証>アクセスグループ>

グループをチェックをして以下のボタンを押してください。

デバイスにすべて適用：PC 側のデータをデバイスにすべて上書きします。

デバイスに変更を適用：PC で変更をおこなった部分のみを上書きします。

通常は「デバイスに変更を適用」を選択してください。

デバイスへの反映が始まると左のような画面になります。データが反映するまでしばらくお待ち下さい。

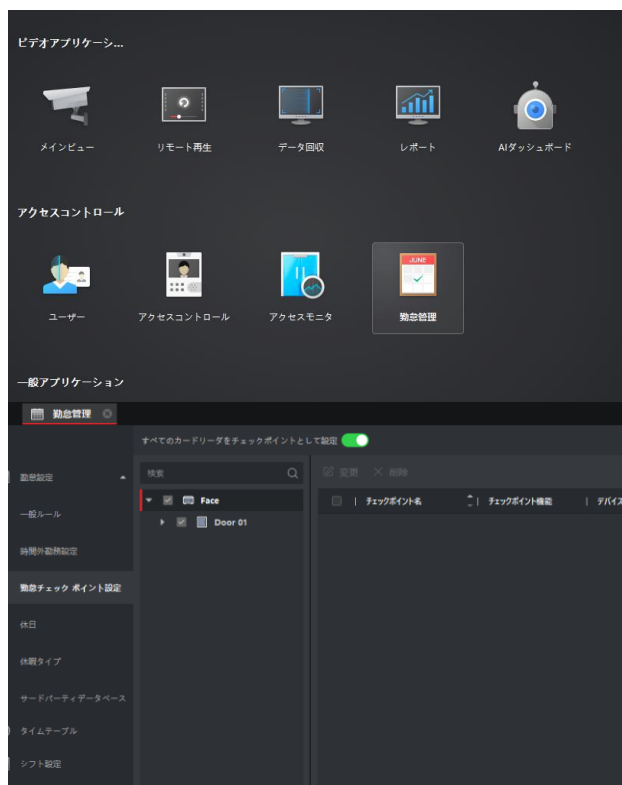


ユーザー・組織の追加、変更、削除、デバイスの追加、変更、削除がある場合、必ず本作業を行ってください。

勤怠編

勤怠管理データが必要な場合は以下の設定も行ってください。

勤怠管理概要



メニュー＞勤怠管理＞基本設定＞

勤怠チェックポイント設定

チェックポイントが ON になっているかを確認してください。